工事かわら版

浜松医療センター新病院整備工事

Vol.18
令和4年9月号

●工事状況

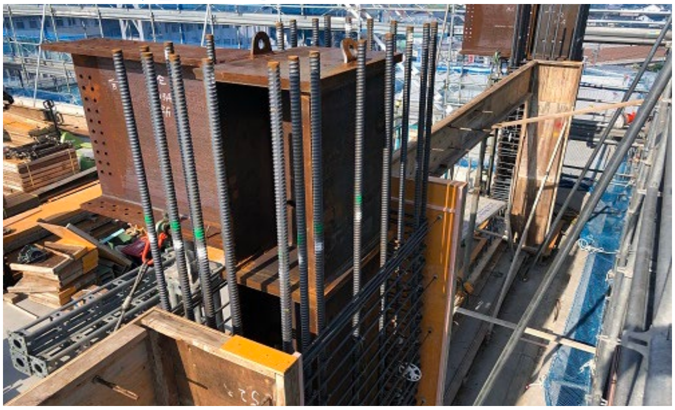
躯体工事も7階床の工事へ突入し、建屋の上棟まであと一息となりました。後発の建屋北側の躯体工事も進行し、建屋の最終形に近づいていく様子が見てとれます。 仕上工事も、間仕切り壁などの内装工事だけではなく、外壁塗装やサッシ工事といった建物の外装に関わる工事が進んでおり、構造体の形以外の見た目にも工事進捗が現れています。
季節の変わり目に差し掛かり、昼夜の寒暖差が大きくなっています。体調に気を配りながら安全作業で工事を進めていきます。

定点写真

●壁の向こうは・・・？

7階の構造体には他階と異なる構造である鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)が登場します。鉄骨造(S造)と鉄筋コンクリート造(RC造)を組み合わせ、RC造の内部に鉄骨造が内包されているような構造で、RC造と同じ太さの構造体であっても耐震性を高めることできるという特徴があります。
RC造内で密に配筋されている鉄筋の中にさらに鉄骨を入れ込むため、熟練の作業員による繊細な技術が求められる工事です。手順や精度確保に工夫が凝らしており、建設のプロらしさが良く垣間見ることのできる工事です。

7階SRC造の工事が始まりました。



●工程	令和4年度	工事進捗率 35.7%
	9月	10月
躯体工事	6,7階 柱/梁/壁/床　鉄筋/型枠/コンクリート工事	7,R階 柱/梁/壁/床　鉄筋/型枠/コンクリート工事
仕上工事	防水工事・断熱吹付工事・耐火被覆工事・軽量間仕切壁工事	断熱吹付工事・耐火被覆工事・軽量間仕切壁・天井下地工事
設備工事	外構工事・スリーブ工事・建屋内設備工事	外構工事・スリーブ工事・建屋内設備工事

●コラム《夕空を眺めて》

季節の変わり目を迎えて、夕刻ふと肌寒さを感じた時間がありました。ふと空を見上げるとタワークレーン越しに透き通った夕焼けが。忙しさの中でふとリラックスできた瞬間でした。
秋は1年の中で最も大気中の埃が少なく、空気が澄んでいる時期です。それ故に秋の夕焼けはきれいに見えると言われています。先日は十五夜もありましたが、十五夜で月がきれいに見えるのも同じ原理のようです。
日々の忙しさで息も抜けないような時もあるかと思いますが、時には一息おいて季節を感じてみるのもいかがでしょうか。 10月8日にも十三夜と呼ばれるお月見の日がありますが、天気に恵まれるとよいですね。

浜松医療センター新病院整備工事 作業所スローガン
みんなでベクトル合わせ ものづくりでONE TEAM
壁の向こうは命の現場！

工事かわら版を毎月発行します。次回は10月下旬です。
発行：清水・須山・中村組特定建設工事共同企業体
工事のお問い合わせはこちらまで　TEL:053-488-5601